

25年はチャンス之年

萬運輸 新春の集い 人材育成や設備投資

萬運輸（東海林憲彦社長、横浜市鶴見区）は11日、「萬運輸グループ新春の集い」を本社で開催し、



「会社が健全経営を続け社員が健康であることが重要」と東海林社長

幹部や社員が2025年の方針を確認するとともに懇親を深めた。

東海林社長が「国内自動車メーカーの経営統合のニ

ュースは、自動車部品輸送を手掛ける我々にとっては衝撃的。ただ、今まで取引のなかったメーカーと取引できるチャンスでもある。

自動車アフターサービスでの物流需要拡大も見込める」と指摘。また、「主要荷主のアイスクリームチェ

ーン店は31年までに国内店舗を現在の1・6倍に増やす計画だ。世界が混沌する

年と予測される25年だが、チャンス之年でもある」と強調した。

更に、今年の重点目標として、人材の確保・育成と戦略的設備投資を掲げ、「全社員が今後3年以内に自身の後継者を1人育てることとし、育成の輪を広げ

ていこう。新たな人材にこれまでの業務をバトンタッチし、我々はまた新しいことに取り組むことが必要だ。これからも会社が健全経営を続け、社員が健康であることが重要」と話した。

（吉田英行）